

# ばれっと

2010  
2月  
No.126

## ■ すぽっとらいと

### 子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ

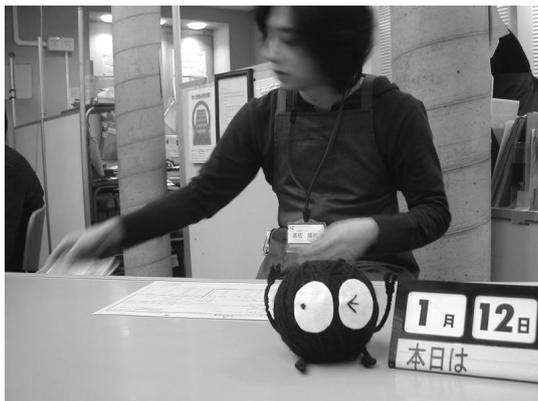
(キャプネット・みやぎ)

「親にも子どもにも安心の場があることを伝えたい」

## ■ アラカルト 広報特集！今回は2本立て

- ・ キャッチフレーズの作り方
- ・ 名義後援の取り方

- サポセン日記
- お知らせ
- イベント紹介



サポセン窓口で、皆さまをお待ちしています！

ばれっと紙面でも、幾度となく登場してきた丸いサポセンのキャラクター「さぼちゃん」。そんな、さぼちゃんのマスコットが誕生しました。

今は、1階の窓口で皆さまに愛嬌をふりまいています。窓口にお立ちよりの際は、可愛がってくださいね。

# すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

## 親にも子どもにも安心の場があることを伝えたい 子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ (キャプネット・みやぎ)

子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ (Child Abuse Prevention Network Miyagi) (以下、キャプネットみやぎ) は、年々増加する子どもへの虐待を憂いて、1999年に立ち上げられた民間の支援団体です。今回は、電話相談部の設立当初より関わる相談員の舟山みどりさんにお話を伺いました。

### ● 新人もベテランも月1回の研修でスキルアップ

キャプネットみやぎは、増え続ける子どもへの虐待に悩み苦しむ親と子どもを助けたいという思いから、10年前に民間の子ども虐待防止支援団体を作ろうと立ち上がりました。その当時、もちろん公共の相談窓口はありましたが、行政だけでは行き届かない細かな部分がありました。そこで、弁護士や小児科医、精神科医などの専門家が民間団体の運営委員となることで、より柔軟で専門性の高い支援を目指しました。

活動の柱は電話相談。現在、在籍している相談員は約60名おり、全員ボランティアだそうです。相談員は、新人だけではなく、経験10年のベテランでも定期的に研修を受講します。この研修は月に1回の割合で行われ、専門の講師に来て頂き、相談員自身の心の整理のしかたなど、相談を受ける側のケアを勉強したり、アドバイスをもらっているそうです。



▲ 相談員の舟山みどりさん

虐待は、とてもデリケートな悩みであるため、キャプネットみやぎの存在が口コミで広がることはあまりないそうです。そのため、名刺サイズの電話相談カードを作成して小児科や精神科、児童館、保育園、幼稚園などに置いているそうです。カードは『虐待』という文字を小さくするなど、さりげなく持ち帰れるように工夫しています。

### ● 心を傾けて聞く

「虐待を『悪い』として加害者である親をただ責めたり指導したりするだけでは、何も解決しません。お母さんもお父さんががんばっています。そして苦しんでいるのです。まずはそんな親の味方になり助けないと、子どもたちも助からないのです」と舟山さんは話します。

電話相談は、子育て中の母親からの相談がほとんどです。相談は、虐待に直接関係しているものだけではなく、育児不安などの相談も受け付けています。例えば、子どもが離乳食を食べないという相談の場合、その母親は既にいろいろな方法を試していて、でも上手くいかないその辛さを誰かに話したいのだそうです。さらに舟山さんは「私たちはひたすら心を傾けて話を聞きます。時には直接会って話をしたり、家庭への介入が必要になることもあります」と話します。

電話相談の他に、週に一度『母親グループ』を開催し、同じ悩みを持つ母親たちが自分の気持ちを安心して話せる場所を提供しています。そこにはいろいろな方が訪れます。自分自身も親から虐待を受けてきたという人もたくさんいます。別室に託児を設けていて、保育士や学生ボランティアが子どもを預かってくれるので、安心して話し合いに参加することが出来ます。



▲ 母親グループの託児の様子

## ● ひろがるネットワーク

2006年に仙台で開催された「JaSPCAN日本子ども虐待防止学会」では、キャプネットみやぎが実行委員会事務局となりました。みやぎ大会（仙台）で初めて民間団体であるキャプネットみやぎが運営をし、大成功を収めました。準備に1年もかかり大変な思いをしましたが、やりがいもあり、全てを民間の力でこなしたことは、団体として自慢できることの一つになりました。

また、2007年に全国の主な虐待防止の民間の団体が集まり、「日本子ども虐待防止民間ネットワーク」が設立されました。全国組織になることにより各団体の協力体制も出来て、バックアップも強力になりました。キャプネットみやぎもその一員になることで、積極的に事業を展開することが出来るようになりました。

その一つとして、2008年から「長寿・子育て・障害者基金」の助成を受けて「子育て支援・子ども虐待防止のための家庭支援者研修」を行うことができました。これは厚生労働省の乳児全戸訪問「こんにちは赤ちゃん事業」のガイドラインに添って、宮城県内で実際家庭訪問を行う保健師や、地域の子どものいる家庭を見守る主任児童委員などを対象にして実施した研修でした。内容は子育て支援につながる情報を提供したり、虐待に繋がる心配がないかどうかを見極めたりするための堅実な知識や認識力をつけるというもので、参加者からは非常に有意義であったとの評価をいただきました。

## ● 「ずっとそこにある」という大切さ

デリケートな問題に取り組む団体なので、内部も緊張した雰囲気なのかと思いきや、意外とそうでもなく、おおらかな雰囲気なのだそうです。みんなが言いたい事を言い合ってサクサクと物事が決められるとのこと。トップダウンのない組織だからこそ自由度が高く、誰でも何でも発言できる団体だそうです。

これからの課題と目標は、とにかく継続していくこと。「いつも、ずっと、同じ場所、同じ時間に、そこにあるということがとても大切。毎回行けなくても、好きな時に、行きたくなった時に話を聞いてもらえる場所がある、必ずそこにある心強さ、絶対的な安心感を大切にしたい」と舟山さんは言います。

お母さん達の悩みは、子どもの成長とともに変化しながら続きます。それに対応し続けていくのが、キャプネットみやぎの役割なのです。

## 団体紹介

### 子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ (キャプネット・みやぎ)

キャプネット・みやぎは、仙台・宮城の地域を中心に虐待防止に取り組む市民団体。市民一人ひとりの皆様と一緒に子ども虐待防止をめざし、ご理解とご支援を頂きながら市民自らボランティアな活動を維持発展していきたいと考えています。

#### ● 主な活動内容

- ・子どもの虐待防止に関する電話相談
- ・子どもの虐待防止に関する援助活動
- ・子どもの虐待防止に関する調査・研究活動
- ・子どもの虐待防止に関する啓発・広報活動



■ 設立 1999年10月

#### ■ 連絡先

〒980-0812

仙台市青葉区片平1-5-20-5F

TEL&FAX 022-265-8867

HP <http://www.aa.alpha-net.ne.jp/capnet/>

#### 取材を終えて…

残念な事に、虐待という言葉が毎日のようにテレビや新聞で見聞きする昨今、いつどこでそれが起こっていても不思議ではない身近な問題になってしまいました。加害者でありながら苦しんでいる親達を救わなければ、被害者である子どもは救われないということ、また場所も時間も変更せずには必ずいつも『そこ』にあることがとても大事だという舟山さんの言葉に深さと重みを感じました。  
(担当 能藤 玲子)

# アラカルト

◆市民活動に役立つ情報やサポセンで開催された講座や事業の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

## NPOステップアップ講座 その2 ハートをキャッチするチラシをつくる！ ～キャッチフレーズ100本ノックに挑戦～

日時：2009年9月29日(火)19:00～21:00

場所：仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター

講師：紅邑 晶子さん

(特活) せんだい・みやぎNPOセンター常務理事・事務局長



この講座では、コピーライターの経歴を持つ紅邑晶子さんを講師に迎え、キャッチフレーズを考えるワークショップを行いました。市民活動団体にとって、イベントチラシや団体PRなど、キャッチフレーズの出番は意外と多いものです。インパクトのあるキャッチフレーズのひねり出し方を学びました。

### ■ インタビューからキャッチをつくる

まず、参加者が二人一組となり、インタビューゲームを行って相手のキャッチフレーズを考えました。インタビューの時間は1人3分。短時間に相手のことを聴きださなくてはなりません。参加者のみなさんは、メモを片手に熱心に相手に質問をしていました。

インタビューが終わったら、メモを参考に、相手のキャッチフレーズを考えます。ここで与えられたノルマは10本以上。10分間、思いつく限りのキャッチフレーズを書き出しました。

書き出されたキャッチフレーズを、お互いに交換して、一番良いものを一つ選んでもらいます。選ばれたキャッチフレーズは、大きな用紙に清書をして相手へプレゼント。参考までに、いくつかのキャッチフレーズとプレゼントされた人の感想を紹介します。

#### ・私の足はどこでもドア

旅行が好きな自分の足を、どこでもドアにたとえてくれたことが嬉しかったです。

#### ・自然に優しく人にも優しいやまとなでしこ

自然化粧品に興味があるという話をしたところ『自然に優しく人にも優しい』という言葉を使ってくれました。「やまとなでしこ」なんて言われた事がなかったので、嬉しかったです。

このワークでのポイントは、キャッチフレーズが、相手(クライアント)に響くかどうかです。

キャッチフレーズを選ぶのは相手ですので、どんなことを表してほしいのかをうまくききだして、織り込むことが大切です。

また、最初なので、キャッチフレーズをたくさん書き出せない人もいましたが、考えていることをまずは書き出して、考えた経緯が目に見えるようにすることが大切です。一つのキャッチフレーズを書き出したら、書き出しの頭の言葉だけを変えてみたり、逆に語尾だけを書き換えたりして、いくつものパターンをつくり出すことができます。ネタがつかいたら、思い切って違う角度から考えてみましょう。また、いくつも書き出したキャッチフレーズを組み合わせることで、新たなキャッチフレーズが生まれます。

### ■ 広報の基本をおさえる

市民活動団体のキャッチフレーズを考える際には、誰に向けて発信するのかターゲットを考えなければなりません。これは、広報全般に言えることで、広報計画を立てる際には、誰に向けて何を伝えたいのかを明確にしておく必要があります。

団体のキャッチフレーズを作る前に、以下の広報の4つの基本をおさえましょう。

- ①**正体を明かす**：あなたの団体がどんな団体なのかを伝えましょう。
- ②**イメージをつ**：あなたの団体がどう見られているのか、どう見られたいのかイメージしましょう。
- ③**目的をしぼる**：今回何を広報するのか、何を一番伝えたいのか、目標は何か明確にしましょう。
- ④**相手を決める**：誰に広報するのか、具体的にイメージをしましょう。

## ■ キャッチフレーズ100本ノック!?

キャッチフレーズを考える基本を学んだところで、実際に配布されているチラシを例にとり、キャッチフレーズを考えるワークを行いました。自分ならこのチラシにどんなキャッチフレーズをつけるか、20本以上書き出します。

講座の最初のワークでは、キャッチフレーズを考え出すのに苦労していた参加者のみなさんも、このワークでは、せっせとキャッチフレーズを書き出していました。

そして、今回の講座では、参加者のみなさんがつくったキャッチフレーズを、その場でパソコンに入力し、スクリーンに映し出しました。こうす

ることで、漢字・ひらがな・カタカナといった文字や書体により、読み手に与える印象が異なることや、キャッチフレーズの最後に句点(。)をつけるかどうかでも印象が変わることを実感することができました。

その結果、みなさんが考えたキャッチフレーズは、もとのチラシのキャッチフレーズより、「何を伝えたいのか」がよく伝わるものになっていました。また、たくさんのキャッチフレーズを「書き出す」ことで、イメージの連鎖がふくらんでいき、伝えたいことの本筋が見えてきます。みなさんも、キャッチフレーズ20本、いや100本ノックに挑戦してみてください。(担当 太田 貴)

## <広報戦略 お役立ち情報>

# 広報以外にも、メリットがあります! 名義後援の取り方

### ● 名義後援ってなんだろう?

皆さんは「後援」という言葉から、どんなイメージがわきますか? 後援とは「仕事や計画などの後ろだてとなって、資金を提供したり便宜を図ったりして援助すること」という意味です。具体的には、実施するイベントの趣旨や目的に賛同したマスコミや団体などから、お金や物資・人材の援助を受ける事を言います。

しかし、今回テーマとなっている「名義後援」の場合は、お金や物資、人材などの援助は一切ありません。ただし、後援先が企画やイベントの趣旨に賛同していることを表すため、イベントのチラシなどの広報媒体に「後援 ○○放送」という団体の名称を入れることができるようになります。

### ● 名義後援のメリット

名義後援先	メリット		
	広報効果	公共性	特徴
マスコミ	◎	○	告知媒体などに掲載され、広報効果が上がる可能性がある
行政	○	◎	イベントに対する信頼度の向上
各種団体	○	○	他団体と新たな関係や繋がりが生まれる可能性がある

名義後援を得るメリットとして、上の表のように「1、団体の行う事業への社会的信用が増す」「2、活動の公共性をよりアピールできる」とい

う事があります。

### ● 名義後援を得るための手順

名義後援を得るためには、受けようとする団体や組織にイベントの目的及び趣旨を正確に伝えることが重要です。そのために十分な準備や丁寧な説明、誠実な対応が必要となります。

名義後援を得るための一般的な手順は以下の通りです。(申請方法は後援先によって様々です。詳細は後援先にお問い合わせ下さい)

#### ①後援先の選定

マスコミや行政、団体などいろいろあります。メリットや特徴を考えてイベント等の内容にあった後援先を選びましょう。

#### ②申請書類の準備・作成

申請書など所定の用紙が決まっている所もありますので、後援先への確認が必要です。

#### ③申請書類の提出

申請から認可を頂くまでの期間は、後援先によってそれぞれ違います。チラシなどの作成に間に合うように、余裕をもって申し込みましょう。

#### ④報告書の提出

事業終了後の状況報告・成果・今後の展望を盛り込みましょう。

名義後援を得る事には広報効果や公共性など様々なメリットがあります。手続き自体は難しいものではありませんので、イベントに合った後援の申請を行い、広報効果の向上を目指してみたいかがでしょうか。(担当 菊地 竜生)

# サポセン 日記

## はあとぼーと仙台のサポセン職業体験

毎週火曜日の14時から16時まで、仙台市精神保健福祉総合センター(以下、はあとぼーと仙台)のデイケアに通所している方が、「社会体験」というプログラムを通じてサポセンで職場体験を行っています。この取り組みは、サポセンでの職場体験によって、就職への意識を高めることや、社会復帰のきっかけを掴むことを目的に、2年前から行っています。今回は、どんな仕事をしているのかをご紹介します。

### ●14:00 仕事は多種多様!

はあとぼーと仙台のみなさんの活動は、14時の館内見回りから始まります。交流サロンを利用されている方の人数を数えたり、トイレの中や非常階段に不審者や不審物がないか、給湯室の洗剤が不足していないか、コピー機の中のトレイに入っている紙の残量まで丁寧に点検します。

### ●14:20 印刷機を使う腕前はプロ並み

今度は印刷室に移動して作業が始まります。事務局で利用する書類や、利用者みなさんが普段何気なく書き込んでいる台帳類、これもはあとぼーと仙台のみなさんが印刷してくれているんです。両面印刷もお手の物。作業を分担しながらてきぱきとお仕事を進めます。

この他にも、団体情報の検索・整理や、領収書の作成、印刷機の利用受付など、利用者みなさんとの接点を持てるような業務にも積極的に関わっています。



### ●15:00 ぱれっと発送作業

休憩した後は、また次の作業に取り掛かります。

みなさんに読んでいただいているニューズレター『ぱれっと』の発送作業でも、はあとぼーと仙台のみなさんは大活躍。毎月、『ぱれっと』の発行日が近い火曜日は、サポセンスタッフと一緒に、封筒のラベルやメール便のシール貼り、封入作業を行っています。



### ●16:00 作業終了!

今日一日の作業も終了です。作業内容を振り返りした後は、スタッフに挨拶をして帰ります。

毎週火曜日の午後、ネームプレートをつけて作業をしている方々を見かけたら、はあとぼーと仙台のメンバーです。よろしくお願ひします。

(担当 大西 千佳)

## お知らせ ●○●

### [市民・NPO×自治体] 協働対策セミナー

## 市民参加で協働力パワーアップ! 3ヵ年計画をつくろう

仙台市が、1999年を「市民協働元年」と位置づけしてから、早11年が経とうとしています。

このセミナーでは、事例として仙台市を取り上げ、仙台市の協働による取り組みを、より深くより大きく推進していくためには何をすべきか、市民・NPO、行政それぞれの立場で考えたいと思います。

- 日 時 平成22年2月10日(水) 14:00~17:00
- 場 所 仙台市市民活動サポートセンター  
6階 セミナーホール
- 定 員 40名(先着順)
- 参加費 無料
- 対 象 協働を推進する市民・NPO/行政職員

■問い合わせ・申し込み先  
仙台市市民活動サポートセンター  
TEL 212-3010 FAX 268-4042

# 2月の イベント紹介

■サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。  
 ■原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。  
 ■毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。掲載をご希望の方はお問い合わせください。

## ●貸室での催し物

開催日時	イベントタイトル	貸室	参加費	主催/問い合わせ先
2月2・9・16・23日(火) 15:30~17:00 19:00~20:30	「うつと不安の自助グループ」 午後のコース(PM3:30~) 夜のコース(PM7:00~)	研修室1	2,000円 (事前申込必要)	はあとランド Tel&Fax:022-348-8262 (佐藤)
2月6日(土) 14:00~17:00	子どもの非行や問題行動に親としてどう向き合えばいいのか?一緒に分かち合いませんか?	研修室2	500円 (事前申込不要)	みやぎ「非行」と向き合う親たちの会 携帯:080-1838-7464 (星野)
2月9日(火) 10:00~11:45	親業セミナー 「子どもの考える力を育てるコミュニケーション」	研修室5	500円 (事前申込不要)	PETフォーラム Tel&Fax:022-281-0858 (石田) http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/
2月10日(水) 10:00~13:00	[市民・NPO×自治体] 協働対策セミナー第1部 第4回協働環境調査から学ぶ	セミナーホール	1,000円 (事前申込必要)	(特活)せんだい・みやぎNPOセンター Tel:022-264-1281 Fax:022-264-1209 (加藤・小川)
2月17日(水) 11:00~13:00	ベビーケア・マッサージ	研修室3	1,500円 (事前申込必要)	Heartの会 携帯:080-1823-3146 Fax:022-222-8926 (曾根)
2月20日(土) 13:30~17:00	青年農業者たちと、新時代の“農”&“食”を語ろうー「それぞれの就農スタイル。近未来ビジョン」	セミナーホール	500円 (事前申込不要)	NPOせんだい食農交流ネット・朝市夕市ネットワーク Tel&Fax:022-214-3203 (大木)
2月21日(日) 14:00~16:00	盗聴・盗撮無料相談会	研修室1	無料 (事前申込必要)	NPO法人日本情報安全管理協会 東北(仙台)校 Tel&Fax:022-343-1245 (星)
2月27日(土) 13:00~16:30	仙台生ごみネット10周年記念フォーラム 生ゴミのほか落葉、雑草などの堆肥化: 私達の工夫発表	セミナーホール	資料代200円 (事前申込必要)	仙台生ごみリサイクルネットワーク Tel:022-221-6484 Fax:022-221-6485 (山内)
2月28日(日) 13:00~16:30	共同募金配分金子育て支援事業 お母さん、幸せですか?Part II 第3回絵で「わたし」を表現する	セミナーホール	無料 託児料500円 (事前申込必要)	子どもの問題を考える会仙台 携帯:090-2790-6107 Fax:022-268-4042 [LC24] (庄子)

## ●展示スペース(5F)での催し物

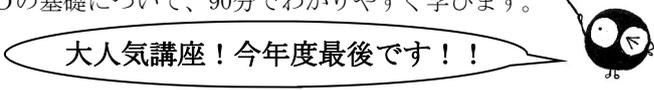
開催期間	タイトル	参加費	主催/問い合わせ先
2月15日(月)~ 3月15日(月)	2009年度活動写真展 ~小松島新堤の水浄化・榴岡天満宮花植づくり・水質の浄化・どんぶり拾いなど~	無料	NPO法人杜の都仙台ナショナルトラスト Tel&Fax:022-225-2664 (菊田)

## ●市民活動シアター(B1F)での催し物

開催日	イベントタイトル	時間	入場料など	主催/問い合わせ先
2月7日(日)	GAKUTO就職セミナー	13:30~17:00	2,000円	岡崎衛 携帯:080-3753-5918 (岡崎)
2月8日(月)	ヒロ菊地 SIXTIETH BIRTHDAY LIVE meets 大口純一郎トリオ	開場18:00 開演18:30	5,000円	カーボ Tel:022-261-3792 (遠藤)
2月12日(金)	エイズフォーラムin仙台	開場13:00 開演13:30	無料	ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 仙台青葉城ワイズメンズクラブ Tel:022-271-6759 Fax:022-271-6763 (清水)

# 主催イベントのお知らせ ●○○

<申込み> TEL 022-212-3010

日時	イベント内容	会場	料金
2月10日(水) 14:00~17:00	<b>○[市民・NPO×自治体]協働対策セミナー</b> <b>市民参加で協働力パワーアップ 3ヵ年計画をつくらう</b> 協働による取り組みを、より深くより大きく推進していくために何をすべきか、市民・NPO、行政それぞれの立場で考えます。	セミナー ホール (6F)	無料 (事前申込必要)
2月20日(土) 14:30~16:00	<b>ONPOいろは塾</b> NPOの基礎について、90分でわかりやすく学びます。 	研修室5 (4F)	500円 (事前申込必要)
2月20日(土) 21日(日) 開場14:00 開演14:30	<b>●サポセン・シアターを3倍面白くする企画プログラム</b> <b>「劇団ファットブルーム貸します?」</b> <b>劇団ファットブルーム 第3回公演 アヒル達の住む家</b> 演劇を通じて障害者の社会参加を実現しようと活動する劇団です。在仙演劇人や一般公募参加者など、多くの人たちと「関わり」を持ちながら作った感動のステージをお届けします。 主催:劇団ファットブルーム 問合せ先 090-6250-9245 (高橋)	市民活動 シアター (B1F)	一般2,000円 (当日2,300円) (事前申込必要)

## 仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

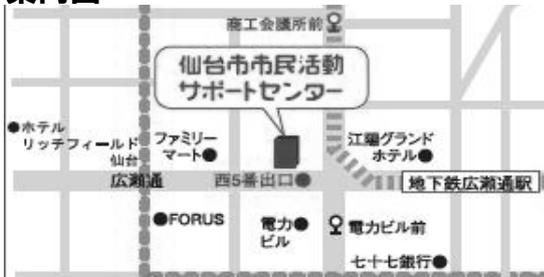
<申込み・問合せ> TEL 022-217-3983  
仙台市シニア活動支援センター (サポセン3階)

日時	イベント内容	会場	料金
2月13日(土) 10:00~18:00	<b>◆専門相談</b> 地域に役立つ活動の立ち上げや起業を考えている方!まずはアイデアを整理して、実現に向けての一步を踏み出してみませんか?	研修室1 (3F)	無料 (事前申込必要)
2月26日(金) 18:30~20:30	<b>◆シニア棚卸しサロン</b> 定年退職前後の方に向けて、活動の先輩からの事例提供や情報提供と参加者同士の交流をします。	研修室5 (4F)	1,000円 (事前申込必要)
3月23日(火) 10:00~20:00	<b>◆セカンドライフ相談</b> テーマを定めず、セカンドライフの相談に、個別/グループで相談員が幅広く応じます。	研修室5 (4F)	資料代500円 (事前申込必要)

## ■ 仙台市市民活動サポートセンターとは

さまざまな分野の市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちのための拠点施設です。

## ■ 案内図



○当施設に駐車場・駐輪場はございません。お車や自転車でお越しの際は、周辺有料駐車場・駐輪場をご利用ください。

注)路上駐車は周辺の迷惑となりますのでおやめください。

○ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。

[最寄のバス停]

電力ビル前、商工会議所前、広瀬通一番町前、地下鉄広瀬通駅前

## ■ 開館時間

○平日 午前9時~午後10時

○日曜・祝日 午前9時~午後6時

## ■ 休館日のお知らせ(施設点検等のため)

1/27 2/24

**■ 編集後記** ◆受付机にちょこんと座る、さぼちゃん。窓口に子どもが来ると可愛がってもらえますが、気をつけないと毛糸が抜かれてしまったり…。スタッフも気が抜けません。(内川)

◆今月のアラカルトは、「広報」がテーマです。私もキャッチフレーズを考えるのは苦手で、なかなか100本ノックとはいかないのですが。一生懸命考えるのが大事だと思っています。(菅野)

発行:仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL:022-212-3010 FAX:022-268-4042

ホームページ <http://www.sapo-sen.jp>

発行日:2010年1月25日

編集:特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

編集人:内川奈津子 菅野祥子

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行なっています。[指定管理期間:2007年4月1日~2010年3月31日]